

## 平成 27 年度 学校関係者評価委員会の評価に関する報告

開催日時：平成 28 年 4 月 20 日(水) 10 時 30 分～12 時 10 分

開催場所：本校 2F 図書室

出席者：学校関係者評価委員会

委員長 株式会社ホテルリッチ酒田 代表取締役社長 熊谷芳則  
委員 有限会社荒木米穀店 代表取締役 荒木照夫  
委員 酒田調理師専門学校同窓会会長 佐藤憲三

酒田調理師専門学校

校長 齋藤 正典  
教頭 望月 恵子  
主幹 森田 幸子  
教務主任 小田 奈緒子  
進路指導主事 金内 亮平

欠席者：学校関係者評価委員会

委員 アル・ケッチャーノ オーナーシェフ 奥田政行  
委員 株式会社 菅原鮮魚 代表取締役 菅原和浩

学校関係者評価委員会の報告

別紙のとおり

## 1. 重点目標について

学校の教育目標や重点目標や計画に基づいた形での指導をさらに行って欲しい。

## 2. 各評価項目について

### (1)教育理念

- ・教育理念や目標、人材育成像を目指した指導を継続して欲しい。

### (2)学校運営

- ・学校の情報公開を行うとよい。

### (3)教育活動

- ・調理師は技術面を磨くのは勿論だが、作ることだけが仕事ではなく、将来の仕事を見据えた目的意識等含め、さらなる指導が必要である。
- ・将来の仕事では原価率等の経営的な勉強や感覚が必要なので、ぜひ指導に力を入れて欲しい。
- ・調理実習は、さらに現場で即戦力になれるよう指導が望まれる。

### (4)学修成果

- ・様々な資格取得の向上に継続して指導して欲しい。
- ・さらなる細やかな指導を引き続き行い、退学率の低減を図ってもらいたい。

### (5)学生支援

- ・就職活動の支援を引き続き行って欲しい、さらに卒業後についても支援を行って欲しい。

### (6)教育環境

- ・毎年、ホテルリッチ&ガーデン酒田の電化厨房見学をしている。電化厨房は、衛生や調理師の労働環境・労働条件等を考えるうえで、大きなメリットがある。今は家庭でもIH化が進んでおり、今後の授業の中でさらに取り入れ、設備も整えられたら良いかと思う。

### (7)学生募集の受け入れ

- ・多角的な方向からの募集活動を行う必要があるのではないか。

### (8)財務

- ・情報公開の体制を整えたらどうか。また、財務確保に心がけて欲しい。

### (9)法令等の遵守

- ・法令は遵守されている。

### (10)社会貢献・地域貢献

- ・地元空港の愛称が「おいしい庄内空港」となったことを踏まえて、地域活性のために今以上に地元食材を大切に、貢献する人材を育成してもらいたい。